

9月・10月は
「認知症を知る月間」

認知症は誰にでも起こりうる 身近な病気です

認知症は決して特別な人だけのものではありません。年齢を重ねれば誰もがなる可能性がある身近な病気です。

認知症について正しく知り、地域全体で支え合うことが、誰もが安心して暮らせるまちづくりにつながります。

認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを進めるためには、一人ひとりの理解と行動が大切です。

「認知症を知る月間」をきっかけに認知症について考えてみませんか。



大切なのは「支える人」と「支えられる人」
という一方的な関係ではなく、地域の一員として
お互いに認め合い、支え合うこと

誰もが安心して
暮らせる地域づくりのために

今日からできること

- 認知症について正しく知る
- 困っている人に優しい声をかける
- 本人の気持ちを大切にする
- 地域の見守りや支え合いに参加する

認知症になっても安心して
暮らせる地域は、誰にとっても
暮らしやすい地域です

これまで認知症は「何もできなくなる病気」と誤解されることが少なくありませんでしたが、認知症になっても、できることはたくさんあります

新しい認知症観

「一人ひとりの希望や能力を大切にしながら、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる」という考え方

一人ひとりの小さな思いやりが
大きな安心につながります

9月1日(火)日没から21時頃まで、市役所6階北側を認知症の普及啓発のシンボルカラーであるオレンジ色にライトアップします

あなたの理解が、地域の安心につながります

地域で支え合う

チームオレンジいわぬま

認知症の当事者やその家族、地域住民、専門職などがチームとなり、一人ひとりの希望や困り事に寄り添いながら支え合う活動



▲認知症カフェ
「カフェ・マリーゴールド」

【活動の例】

- 認知症の方と一緒に
趣味や地域活動へ参加
- 見守り家庭訪問
- 認知症カフェへの参画

地域包括支援センター毎に
「チームオレンジいわぬま」が
活動しています

オレンジリング

認知症の方を支援する
という意思表示の目印です。
認知症サポーター養成講座の
受講者に配布しています。



認知症になっても希望を持ち、
自分らしく暮らし続けられる
まちづくりについてお話しませんか

みんなでつくる認知症施策推進計画

「認知症まちづくりカフェ」

認知症の当事者や家族の思いを基に・・・

日時／ 9月25日(金) 10時～11時30分
場所／ JOCA東北 やぶ亀 (中央四丁目3-1)
対象／ 認知症の当事者やその家族
内容／ お茶を飲みながら自由に意見交換
※申し込みは不要です。

市では、認知症になっても自分らしく暮らし
続けられるまちづくりを進めるために
「認知症施策推進計画」を策定します

認知症の正しい知識や接し方を
学ぶことができます。あなたも
サポーターになりませんか？

認知症サポーター 養成講座

認知症を正しく理解し、温かく見守る
応援者（サポーター）になるための講座



▲岩沼西小学校での講座の様子

世代を超えて 多くの「認知症サポーター」が います



▲岩沼高等学園の生徒による普及啓発活動

「自分たちにできること」を
考え、取り組んでいます

依頼のあった団体や企業、市内の
小・中学校や岩沼高等学園、名取
高等学校で講座を実施しています